



拡大する大学の意義と
多面的な学習意欲に対応するために

総合型選抜が変わります。



総合型 選抜

コース確定枠に
総合型選抜
女子特別枠
スタート!

- コース確定枠
- 第一次産業振興枠
- 冬季スポーツ枠

コース確定枠 | 概要

工学の専門性を深め、工学の技術を通じて社会貢献を目指す人を募集します。現代社会では幅広い知識を身につけた人材が期待されると同時に、より深い専門知識を持った人材も必要不可欠です。また工学の専門知識だけでなくそれら知識を活かし工学の技術を社会で実装する人材も求められています。

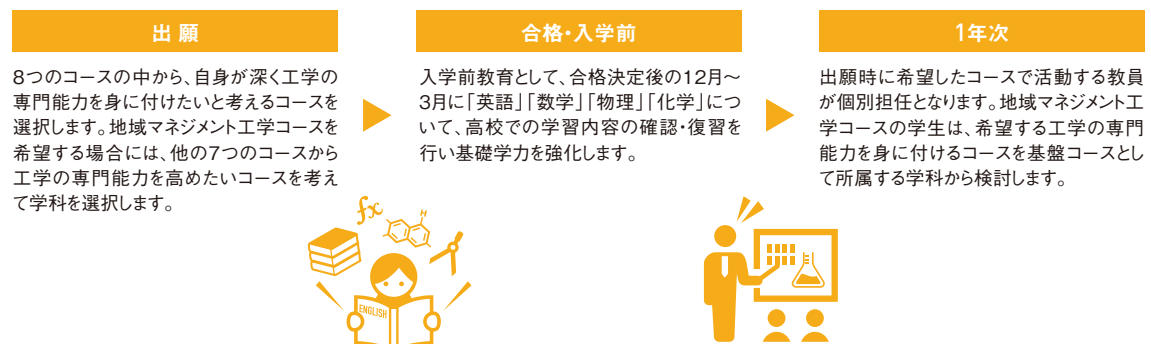
「地球環境工学科」では、地球環境問題など日本のみならず世界的な課題を解決できる人材を育成します。「地域未来デザイン工学科」では、世界・日本を構成する地域をデザインする力、地域の課題を見出す力、課題解決能力、そして課題解決に取り組む主体的な姿勢などを合わせ持つ人材を育成します。

これら2学科には工学・技術の専門性を深めるために合わせて8つの専門コースがあります。「これを深めて学びたい!」という工学の専門分野が定まっているあなたを、社会の課題解決や持続可能な社会の創出などを通じて社会で活躍する工学者・技術者として育てます。

8つのコースがあなたのやりたい!を叶えます

 <p>地球環境工学科</p>	<p>エネルギー総合工学コース</p> <p>再生可能エネルギー、地域分散型エネルギーシステム、エンジンシステム等の幅広いエネルギー技術を身に付けた技術者を養成</p>	 <p>地域未来デザイン工学科</p>	<p>機械知能・生体工学コース</p> <p>ヒトと機械が調和する未来社会に関わる課題解決能力を備えた技術者を育成</p>
 <p>地球環境工学科</p>	<p>環境防災工学コース</p> <p>地球環境や寒冷地特有の自然環境や災害について、防災や減災を実現するための技術力を身に付け、環境工学や防災工学の分野で活躍できる技術者を養成</p>	 <p>地域未来デザイン工学科</p>	<p>社会インフラ工学コース</p> <p>地域の未来を創造する社会インフラの設計・構築・維持・管理に携わる専門技術者を養成</p>
 <p>地球環境工学科</p>	<p>先端材料物質工学コース</p> <p>省エネルギー・環境保全材料、環境に優しい合成プロセス開発の知識・実験技術を身に付けた技術者を養成</p>	 <p>地域未来デザイン工学科</p>	<p>情報デザイン・コミュニケーション工学コース</p> <p>ソフトウェア・ハードウェアの原理・基礎を重視して情報通信技術に関わる技術者を養成</p>
 <p>地球環境工学科 地域未来デザイン工学科</p>	<p>地域マネジメント工学コース</p> <p>工学の専門能力を活かし社会が求める技術を生み出す研究・開発プロセスにおける管理能力を備えた技術者を育成</p> <p>7つのコースから工学の専門能力を高めたい基礎コースを考え学科を選択します。</p>	 <p>地域未来デザイン工学科</p>	<p>バイオ食品工学コース</p> <p>バイオテクノロジーや食品工学に関わる基礎知識とそれを応用する能力を備えた技術者を養成</p>

北見工業大学での学び



卒業後

大学院進学

学部教育で培われた力を基盤に、更に高度な専門能力を修得し、社会で活躍する工学系人材を目指す。

就職

身に付けた工学の専門能力を活かし、研究・開発の現場で活躍。

令和6(2024)年度入学者選抜から 総合型選抜コース確定枠が変わります。

コース確定枠に
総合型選抜
女子特別枠
スタート!

あつまれリカジョ!
理科好き女子

北見工業大学では、令和6(2024)年度入学者選抜(令和5年度実施)から、総合型選抜コース確定枠において、**女子を対象とする「女子特別枠」および性別によらず出願できる「一般枠」**を8コース全てに設定します。募集人員は女子特別枠 計16人、一般枠 計16人として実施します。なお、**女子特別枠の志願者は、一般枠との併願を可能とします。**総合型選抜コース確定枠が現行の14人から**32人に増員**することにもない、募集人員を変更します。

近年、女性の活躍を推進する企業が増えており、理工系女子学生育成の要請が高まっています。しかし、工学部における女子学生比率は依然として低く、学修環境の多様性が十分確保されているとはいえません。特に、北見工業大学における女子学生の割合は、工学部の全国平均よりも低く、10%程度に留まっています。

北見工業大学の
女子学生割合

(R4.5.1現在)

男子学生 88.8%
女子学生 11.2%

全国工学部の
女子学生割合

文部科学省
令和3年度学校基本調査

男子学生 84.2%
女子学生 15.8%

このような背景から、ものづくりの基盤となる理科が好きで、学びたい工学分野が定まっている女子を受け入れ、本学の学修環境の多様性の確保と社会から要請される女性技術者を育成することを目指して、令和6(2024)年度入学者選抜(令和5年度実施)から、女子を対象とする**総合型選抜 コース確定「女子特別枠」**を設定します。

第一次産業振興枠 | 概要

農業・林業・水産業の振興を通じて社会貢献を目指す人を募集します。日本の第一次産業に関わる様々な課題を、工学の技術とそれらを管理するマネジメント(経営・管理)の視点で解決し、第一次産業の活性化や地域の発展を担う人材を育てます。

日本の食料宝庫と言われる北海道。北見工業大学が位置する北海道オホーツク地域は、国内でも特に農業、林業、水産業が盛んな特徴の有る地域です。身近に広大な第一次産業地帯が広がるキャンパスがあなたの未来を応援します。

オホーツク農林水産工学連携研究推進センター

北見工業大学は第一次産業への貢献を目的とし、北海道の第一次産業が抱える課題を工学的な視点から解決することを目指した「オホーツク農林水産工学連携研究推進センター(愛称:CAFFÉ)」を設置しています。

現在、45人ほどの教員がCAFFÉで活動しています。第一次産業振興枠の学生は、CAFFÉで活動する教員と密接に関わりながら1年次から4年次までの学生生活を過ごします。



北見工業大学での学び センターの教員が教育・研究・学生生活を全面的に支援します。

出願

第一次産業振興枠志願者は、地域マネジメント工学コースの学生となります。専門能力を身に付けることを目的に7つのコースの中から、深く工学の専門能力を養いたい基盤コースを選択します。



合格・入学前

入学前教育として、合格決定後の12月~3月に「英語」「数学」「物理」「化学」について、高校での学習内容の確認・復習を行い基礎学力を強化します。



1年次

オホーツク農林水産工学連携研究推進センターの教員が個別担任となります。面談などを通し希望する研究内容を絞り込みます。

1年次から個別担任が指導している研究室のゼミや研究活動に参加します。

2年次

地域マネジメント工学コースでマネジメント知識を養いながら、並行して、出願時に選択した基盤コースで工学の専門能力を養います。希望する研究室を指導する教員とオホーツク農林水産工学連携研究推進センターで活動する教員が連携して教育支援を行っていきます。

3年次

秋には配属研究室が確定し、卒業研究となる研究活動がスタートします。



大学が連携している第一次産業を担う企業等へのインターンシップを実施します。

4年次

卒業研究に継続的に取り組んでいきます。

卒業研究テーマ例

- AIが切り開く環境にやさしい次世代スマート農業
- UAVや3Dスキャナーを活用した農地や林地の計測技術に関する研究
- アイヌ民族の伝統的食材のアレルギー抑制作用及び抗炎症作用
- オホーツク地域の未利用・低利用水産資源の利活用
- 第一次産業就労者の高齢化社会における第一次産業の維持・発展に向けた課題抽出

卒業後

大学院進学

学部教育で培われた力を基盤に、更に高度な専門能力を修得し、社会で活躍する工学系人材を目指す。



就職

第一次産業振興を担うリーダーや、第一次産業振興に関係する工学者・技術者として活躍。



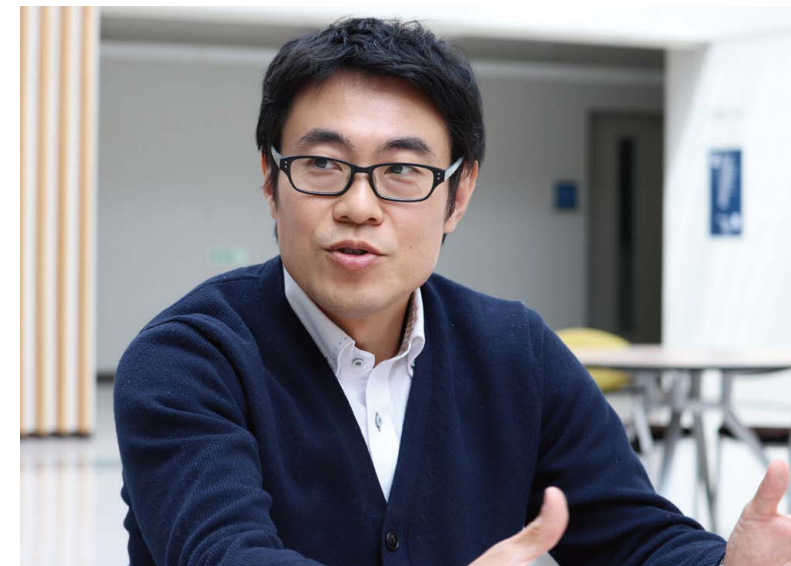
インタビュー

Professor Message

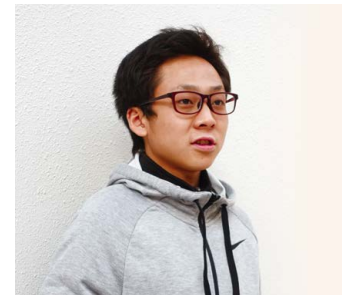
オホーツク農林水産工学連携研究推進センター長
地域未来デザイン工学科
機械知能・生体工学コース

教授 星野 洋平

スマート農業や6次産業化などの研究を通して、地域課題を解決する力を高めることができます。地域を支える意欲と行動力をもつあなたとキャンパスでお会いする日を心待ちにしています。



Student Message



地域未来デザイン工学科
地域マネジメント工学コース
基盤コース
バイオ食品工学コース

青山 エイト
北海道士幌高校出身

農業高校で農業を学ぶ過程で、農業にはもっと力があると感じました。しかし、まだその力を最大限に引き出せていないと感じています。その力を最大限に引き出すには、今後のIT化やグローバル化を考える新しい視点が必要だと考えています。将来は農業などの第一次産業を様々な視点から支えるような活動をしたと考えています。



地域未来デザイン工学科
地域マネジメント工学コース
基盤コース
機械知能・生体工学コース

片岡 慎
北海道常呂高校出身

将来は実家の農業を継ぎたいと思ってます。北見工業大学では、工学の専門能力とあわせて経営に関する学びもできることを知り第一次産業振興枠に手を挙げました。農業を経営していくにあたって必要な課題解決能力はもちろんですが、現在の農業の課題の一つである長時間労働を減らすための機械化など、工学の技術で解決策を導きだす知識とスキルを学びたいと考えています。

冬季スポーツ枠 | 概要

冬季スポーツの振興を通じて社会貢献を目指す人を募集します。冬季スポーツは、北海道のような積雪寒冷地では、健康維持・増進や娯楽の鍵です。また冬季スポーツを通じた地域活性化など新たな産業創出にも期待が寄せられています。工学の技術により、自身の競技能力を高め、冬季スポーツ選手の育成、冬季スポーツに関連する研究・開発などで活躍する人材を育てます。

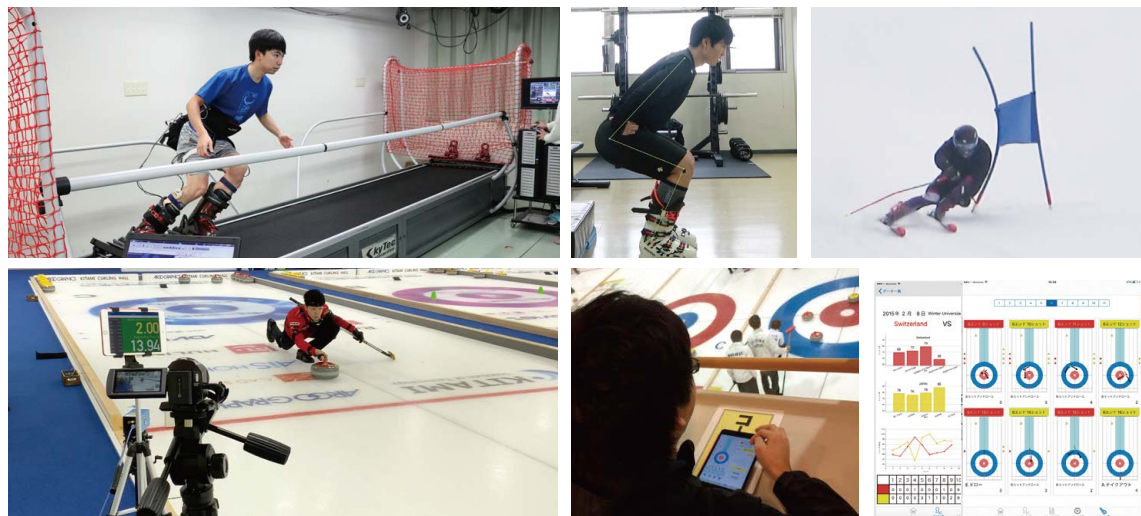
北見工業大学は、2013年に国内唯一の研究設備「Sky Tech Sport Ski & Snowboard Simulator」を導入しました。日本を代表するスキー選手がこの設備を使用し、一緒に研究・開発を進めています。またカーリング競技では、整備された研究環境を持つ北見市のカーリングホールが北見工業大学に隣接しています。北見工業大学は、冬季スポーツの研究に精力的に取り組んでいます。

冬季スポーツ科学研究推進センター

北見工業大学は、2016年に「アルペンスキー競技」と「カーリング競技」を取り上げ、アスリートの競技力向上や積雪寒冷地における生涯スポーツの発展を目指し、冬季スポーツ科学研究推進センター(愛称:WinSS)を設置しました。WinSSでは、本学の「冬季スポーツエリートアカデミー事業」と連携し、対象学生をアスリートとしてスキルアップさせるとともに工学系技術者として知識・技術を習得させ、将来様々な問題に対処し活躍できる人材に育てます。冬季スポーツ枠の学生はWinSSで活動する教員と密接にかかわって1年次から4年次までの学生生活を過ごします。

冬季スポーツエリートアカデミー事業

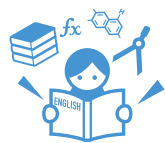
北見工業大学は、工学及びスポーツ科学を通じて自身の競技力向上を目指し、世界水準の選手・指導者、そして研究者として活躍する人材を育成することを目的に「冬季スポーツエリートアカデミー事業」を実施しています。毎年10人ほどがこの事業に参加しています。メンタルトレーニングや体力測定、スポーツ科学に関する輪読会や冬季スポーツに関するゼミの実施、各種測定機器の取り扱い研修などに1年次から取り組んでいます。



北見工業大学での学び センターの教員が教育・研究・学生生活を全面的に支援します。

出願

冬季スポーツ枠志願者は、地域マネジメント工学コースの学生となります。専門能力を身に付けることを目的に7つのコースの中から、深く工学の専門能力を養いたい基盤コースを考えて学科を選択します。



4年間を通じて

合格・入学前

入学前教育として、合格決定後の12月～3月に「英語」「数学」「物理」「化学」について、高校での学習内容の確認・復習を行い基礎学力を強化します。



1年次

冬季スポーツ科学研究推進センターで活動する教員が個別担任となります。面談などを通して希望する研究内容を絞りこみ、研究室を決めていきます。またスポーツ科学の輪読会、講習会、測定会など、自身を題材としながら課題設定・解決ができる力を育みます。

1年次から個別担任が指導している研究室のゼミや研究活動に参加します。

2年次

希望する基盤コース・研究室で活動する教員が個別担任となります。コース移行後は、地域マネジメント工学コースでマネジメント知識を養いながら、並行して、基盤コースで工学の専門能力を養います。希望する研究室を指導する教員と冬季スポーツ科学研究推進センターで活動する教員が連携して教育支援を行います。

3年次

秋には配属研究室が確定し、卒業研究となる研究活動がスタートします。



冬季スポーツエリートアカデミー事業に参加している学生と一緒に、競技力向上と技術スキル習得を両立させる教育プログラムを受講します。アドバイザーとしてトップスキーヤーが指導する合宿も行われます。

4年次

卒業研究に継続的に取り組んでいきます。

卒業研究テーマ例

- カーリング戦術支援のためのデジタルスコアブックの開発
- AIと対戦データ解析によるカーリング戦術支援システム
- アルペンスキー滑降時におけるターン動作の数値データ化と評価
- アルペンスキーにおける競技用スキーブーツの変形解析
- 地域資源を生かしたスポーツによる地域活性化

卒業後

大学院進学

学部教育で培われた力を基盤に、更に高度な専門能力を修得し、社会で活躍する工学系人材を目指す。

就職

冬季スポーツ競技者、冬季スポーツ競技指導者、冬季スポーツ振興に関係する研究・開発を担う工学者・技術者として活躍。



インタビュー

Professor Message

冬季スポーツ科学研究推進センター長
地域未来デザイン工学科
情報デザイン・コミュニケーション工学コース

教授 梶井 文人

アルペンスキーとカーリング競技における選手としてのスキルアップと国際的活躍を支援します。また、地域の生涯スポーツ化を促進するための学際的研究を進めています。自らの競技スキル向上を目指す方、技術者として冬季スポーツの振興に臨むあなたをお待ちしています。



Student Message



地域未来デザイン工学科
アルペンスキー
競技

溝口 雄陽

北海道東海大学付属札幌高校出身

アルペンスキーには4歳から取り組んでいます。競技者としてスキルだけではなくメンタル面(頭脳)も大事であると感じています。自分自身が被験者となって競技者としての競技力向上に向けた課題抽出を行いたいと考えています。また、現在、競技人口が減ってきているスキー競技について指導者として日本のスキー競技レベルの底上げを図っていきたくと考えています。



地域未来デザイン工学科
カーリング
競技

前田 拓海

北海道常呂高校出身

北見工業大学のカーリング部はとても楽しそうにカーリング競技を行っていると感じました。高校生の時から目にしてきました。ぜひその仲間に入りたいと強く感じました。競技者としての自身を被験者として、勝つためのフォームや戦術支援に関する研究に取り組みたいと考えています。そしてこの北見から次世代の競技者を輩出していく指導者になりたいと考えています。

入学から卒業まで

～コース移行から研究室配属～

1年次末

コース移行

コースを選ぶまでの1年は、大学が催すコース配属説明会などに参加することで、じっくりとやりたいことを見定めることができます。そして1年次末に進みたいコースを選択します。地域マネジメント工学コースの学生は、基盤コースとして他7つのコースから一つのコースを選択します。

絞るのではなく、
広がる
コース選択

3年次末

研究室選択

コース配属以降からの専門的学習を踏まえて、研究室紹介や先輩・担当教員との面談等で自分が本当に進みたい研究室を選択します。

卒論や
就職・進学までを
見据えた
研究室選択

1年次

地球環境工学科
地域未来デザイン工学科

2年次

■エネルギー総合工学コース ■先端材料物質工学コース
■環境防災工学コース
■機械知能・生体工学コース ■バイオ食品工学コース
■社会インフラ工学コース ■情報デザイン・コミュニケーション工学コース
■地域マネジメント工学コース

3年次

4年次

入学時

第一次産業振興枠と冬季スポーツ枠、そしてコース確定枠で入学した学生は、移行するコースが確定していることから1年次の基礎教育科目を集中して学ぶことができます。

4年次末

卒業後の進路

大学院に進んでさらに力をつけるのがお勧めです。もちろん地元企業との連携を活かした就職、身につけた知識・技術を武器に有名企業での活躍もあなた次第です。

北見工業大学入試の区分・情報

募集人員

詳しい入試情報についてはコチラ



学科・コース名		募集人員					学校推薦型 選抜
		一般選抜		総合型選抜			
		前期日程	後期日程	コース確定枠	第一次産業振興枠	冬季スポーツ枠	
地球環境 工学科	エネルギー総合工学コース	69人	60人	32人 各コースの 定員4人	3人 [地域マネジメント 工学コース に配属]	4人 [地域マネジメント 工学コース に配属]	44人
	環境防災工学コース						
	先端材料物質工学コース						
地域未来 デザイン 工学科	地域マネジメント工学コース	78人	69人	定員4人のうち 「一般枠」2人 定員4人のうち 「女子特別枠」2人	3人	4人	51人
機械知能・生体工学コース							
情報デザイン・コミュニケーション工学コース							
社会インフラ工学コース							
工学部合計		147人	129人	32人	3人	4人	95人

※コース確定枠「一般枠」は性別によらず出願できます。なお、「女子特別枠」の志願者は、「一般枠」との併願を可能とします。
※総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を後期日程の募集人員に加えて募集します。

総合型選抜入試概要

選抜方法

基礎学力確認試験

調査書

面接

学修計画書

競技成績申告書 (冬季スポーツ枠のみ)

各項目を
総合的に
判断

いずれの枠でも「高校生活や学修計画書の内容を自分の言葉で分かりやすく説明できること」を評価します。

※各枠の選抜内容の詳細は、受験する年度の入学者選抜要項を確認してください

